

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成29年7月27日 (2017.7.27)

【公開番号】特開2017-8872(P2017-8872A)

【公開日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2015-127120(P2015-127120)

【国際特許分類】

**F 0 2 M 35/024 (2006.01)**

**F 0 2 B 25/18 (2006.01)**

【F I】

F 0 2 M 35/024 5 0 1 C

F 0 2 M 35/024 5 2 1 D

F 0 2 M 35/024 5 0 1 A

F 0 2 B 25/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月14日 (2017.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

図 2 を参照して、吸気系エア通路に通じる第 1 吸い込み口 6 0 は、吸気系混合気通路に通じる第 2 吸い込み口 6 2 よりも内周側に位置している。そして、第 2 吸い込み口 6 2 には通路形成部材 7 0 が取り付けられている。通路形成部材 7 0 において、第 2 吸い込み口 6 2 の部分つまり通路形成部材 7 0 (延長混合気通路 7 2) の出口 7 2 b の部分に注目すると、出口 7 2 b の部分は、第 1 吸い込み口 6 0 に隣接した反射壁を構成している。これにより、第 1 吸い込み口 6 0 から出てくる吹き返しエアに対して、通路形成部材 7 0 の出口 7 2 b の部分は反射壁を形成する。この反射壁によって、第 1 吸い込み口 6 0 から出てくる吹き返しエアがエレメント 6 4 側に拡散するのを効果的に阻止することができる。すなわち、反射壁によって吹き返しエアが吹き返し燃料拡散防止領域 7 4 に向けて反射される。